

5月18日 「みんなのいのちを守る署名」スタート集会 18:30ラポール第8
 5月19日 戦争法廃止! 街頭演説・デモ 18:30京都市役所前
 5月27日 第24回労働安全衛生学校 10:00ラポール第1
 6月2日 高齢者怒りの行動 16:00マルイ前
 6月12日 府市民総行動
 6月19日 戦争法廃止! 街頭演説・デモ 18:30京都市役所前
 平和行進 東京・広島コース 6月21日~26日
 富山・広島コース 7月2日~4日
 綾部・亀岡コース 7月4日~8日
 京都市内網の目コース 7月8日

京都総評

京都
総評

京都地方労働組合総評議会：発行

第213号

発行所
 京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階
 京都地方労働組合総評議会（京都総評）
 電話 075 (801) 2308 FAX 075 (812) 4149
 E-mail sohyo@labor.or.jp URL http://www.labor.or.jp/sohyo/
 <発行責任者> 梶川 憲 <編集責任者> 吉岡 勝

京都労働相談センター
 電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp



大幅賃上げ! 人間らしく働くルールの実現を!

働くものの団結で、生活と権利、平和と民主主義を守ろう

第88回全京都統一メーデー

5月1日、府内12ヶ所でメーデー集会在開催され、1万2000人の仲間が参加しました。
 二条城前で行われた第88回全京都統一メーデー大会には、会場いっぱい8000人が集まりました。
 大会では梶川憲実行委員長が「みんなが人間らしく暮らせる社会を拓こう。憲法施行70周年、憲法の道を力強くすも」と主催者あいさつ。日本共産党京都府委員会のこくた恵二衆議院議員、新社会党京都府本部の小西晴也書記長、京都弁護士会共謀罪新設阻止プロジェクトチーム委員・自由法曹団京都支部の秋山健司弁護士、全国過労死を考える家族の会の寺西笑子代表が来賓あいさつ。京都弁護士会の木内哲郎会長から「共謀罪は憲法が保障する思想信条の自由、表現の自由、結社の自由を侵害する。政府に憲法を守るの責任は私たち自身。京都弁護士会は憲法の価値を守り、基本的人権を擁護するために声をあげます。共謀罪断固反対の声に協力」とメッセージが寄せられました。また、京都府知事、京都市長のメッセージが紹介されました。
 争議をたたく仲間が紹介され、代表してJAL不当解雇撤回裁判原告団・小森啓子さん、全厚生不当解雇撤回京都闘争団・北久保和夫さん、青いとり保育園不当解雇事件裁判原告・北垣光代さんが決意表明。大会宣言を満場の拍手で採択しました。
 その後3コースに分かれて京都市内をデモ行進、労働者の切実な要求をアピールしました。



メーデー大会主催者あいさつ(要旨)

今年のメーデーは、まさにせめぎ合いのまった中で開催されます。市民と野党の共同で現実の政治を動かす必要があります。共謀罪は、一億総監視社会をつくり、労働運動も市民の声も抑圧する、独裁政治づくりに他なりません。憲法違反の共謀罪阻止へ力を合わせましょう。

働き方をめぐって、首相官邸が残業規制と言いたし、出てきたのが月100時間を基準とした規制です。「過労死しても働け」と言わんばかりで、もはや規制ではありませぬ。人間らしい働き方を強く要求するものです。

「戦争法廃止」「立憲主義を守れ」「命を守れ」との共同行動の積み上げで政治を動かす、南スーダンPKOから自衛隊員が撤収、家族の元へ戻ってきています。戦争法廃止の声をさらにあげましょう。福島原発事故からの避難を「自己責任」と言った復興相が更迭されました。森友学園問題を含め、閣僚たちのひどい言動は、安倍政権の正体を述べ、ご挨拶とします。

梶川 憲 大会実行委員長

す。今すぐ安倍首相の退陣を求めます。

17国民春闘は、職場と地域からの総決起のもとで賃上げとまともな雇用を求めて、今もたたかっています。「フットワークをあたためて地域も元気に」、「軍事費を削って福祉・教育・暮らしにまわせ」の声をあげ、みんなが人間らしく暮らせる社会を拓こうではありませんか。

